

Is this world a better place because you are in it?



EARTH COMPANY

ANNUAL REPORT 2022

Earth Company 2022年度活動報告

2022年、 約2年半ぶりに みなさまに直接 お会いできました！

新型コロナのパンデミック以来、
Earth Companyでもすべての
イベントがオンラインになりましたが、
2022年7月には約2年半ぶりに、
Earth Lovers(継続寄付者)限定イベントを
東京・目黒で開催することができました！
またインパクトアカデミー事業でも
対面プログラムが再開するなど、
この1年では多くの方にお会いできました！
オンラインでも繋がることはできますが、
直接お会いする感動、嬉しさには
変えられないものがあります。
次世代につなぐ未来をつくる仲間として、
共に過ごす時間の尊さを実感した2022年。
Earth Companyはこれからも、
万全の対策をして、
みなさまと直接お会いする機会を
つくってまいります。



OUR MISSION

次世代につなぐ未来のために、
人と社会と自然が共繁栄する
リジェネラティブなあり方を追求します

インパクトヒーローを支援することで得る学びを研修事業で広め、研修参加者はエシカルホテル宿泊でリジェネラティブなあり方を学び、研修とホテル事業からの収益でヒーローたちの支援活動を支える、インパクトと収益の循環を目指しています。

Earth Companyの目指す リジェネラティブな世界



02



インパクトアカデミー事業

未来を創る人財を育成
リジェネラティブな未来を創る
「未来人財育成研修」を
企業や学校に提供

01



インパクトヒーロー支援事業
チェンジメーカーを支援
リジェネラティブな未来を創る
並外れた資質を持つ
チェンジメーカーの支援

Earth Companyの 3つの事業

宿泊 ▶▶▶

◀◀◀ 学び



Mana Earthly Paradise

エシカルホテル in バリ島
事業が繁栄すればするほど
社会や環境が良くなっていく
リジェネラティブなビジネスモデルの実装

03

FOUNDERS' MESSAGE

Earth Company 共同創設者
濱川 明白香・知宏

Earth Company、 次フェーズへ。

2022年Earth Companyは、次フェーズへ入りました。

2022年は、Earth Companyが世界へ発信したい世界観や未来観、私たちの存在意義や提供価値が設立以来もっとも研ぎ澄まされ、それらが全ての事業において表現・体現され、共感してくれる仲間たちが急増していったように感じます。

インパクトヒーロー支援事業は近年進化し続け、2023年度からは10名程のファイナリストを選出し、彼らを育成支援しながらインパクトヒーローを選出するアプローチにシフト。どっと増えた

支援先に対して、支援に関わってくれる協力者が2022年は世界中に増えました！

インパクトアカデミー事業では、学校や企業への未来創造研修が想像を超える大きなインパクトを出し続けており、学校では日本の未来を創る若者たちが、企業では企業活動と世界が共繁栄するためのビジネスプラクティスを目指す未来人財となった方々が、すでに一步を踏み出し始めています。(彼らの言葉が素晴らしいのでぜひP.19のリンクからご覧ください)

ただしこれらの進化には体制強化、つまり拡大のための資金も必須です。資金を待たずにインパクト重視で活動を進めたため、大きな負荷がかかったのも事実です。そのため、2023年からは、インパクト拡大に向けて日本だけではなくもっと世界を巻き込んでいくため、インドネシアに海外ファンドレイジング部を設置しました！

次フェーズからは、より世界に！

そしてキーワードは、「共繁栄」。

「Is this world a better place because your company is in it?」これは、ユニリーバの元CEOポール・ポルマンの言葉ですが、昨年多くの企業の方々の心に突き刺さったのがこの言葉でした。そして表紙にあるように、この言葉は個人にも当てはまりますよね。人も自然も、私たちも海の向こうの人たちも、自分の暮らしも世界で起こっている数々の危機も、全てが繋がっているこの世の中、これを意識するかしないかで、私たちの未来は大きく変わります。


まさにこの「繋がり」を活かして、世界を「共繁栄」に導くりジェネレーターたちが、日本の学校にも、企業にも、そして世界にも、増え始めました。ここからが、本番です。人と社会と地球が共繁栄する未来に向けて！




OUR IMPACT IN 8 YEARS

2014年10月の設立以来、この8年間でこれらのインパクトを実現することができました。これらは全て、皆さまからの温かいご支援と応援あってこそです。心からお礼を申し上げます。(2022年12月31日時点)


インパクトヒーロー支援事業

 **1億239**万円

IMPACT HEROへの支援総額

 **275万1,488**人

累計受益者数

 **21**人

支援してきたヒーローの人数


(IMPACT HERO 6人
ファイナリスト 15人)

 **21**本

累計研修参加者数



インパクトアカデミー事業

 **5,963**人

累計研修参加者数


 **100**本

累計研修数

 **27**カ国

参加国数

エシカルホテル事業

 **1,343**人

累計訪問者数

 **49**カ国

訪問者の国の数

IMPACT HEROES

IMPACT HERO 支援事業


リジェネラティブな未来を創る、
類稀な変革力を持つアジア太平洋の
チェンジメーカーを支援。

1年に一人選出するIMPACT HEROには、
活動のインパクトを最大化できるよう、
課題やニーズに合わせたカスタマイズ支援を
3年間とことん寄り添って提供。

また2021年から、ファイナリストへも支援を広げ、
リジェネラティブな未来を創る
リーダーになるための研修やサポートを通年実施。
2030年までに、100人のリジェネラティブな
未来を創るチェンジメーカーを育成することを
目指しています。

 **1,203**万円

2022年のインパクトヒーローへの
送金金額

 **166**万人

2022年の受益者総数



IMPACT HEROES COLLECTIVE

類まれな変革力を持つ6人のIMPACT HEROと23人のファイナリストをご紹介します！

- IMPACT HERO 2023 ファイナリスト
- IMPACT HERO 2022 ファイナリスト
- IMPACT HERO 2021 ファイナリスト
- IMPACT HERO



Pashtana Durrani
(アフガニスタン)



Zeinorin Angkang
(インド)



Kristin Kagetsu
(インド)



Rhea Mazumdar Singhal
(インド他)



Aravinth Panch
(スリランカ)



Somsak "Pai" Boonkam
(タイ)



Patima Tungpuchayakul
(タイ)



Muhammad Noor
(マレーシア)



Nguyen Thi Van
(ベトナム)



Hong Hoang
(ベトナム)



Lastiana Yulindari Utami
(インドネシア)



Galuh Wandita
(インドネシア他)



Randi Julian Miranda
(インドネシア)



Gary Benchehib
(インドネシア)



Aparna Bhatnagar Saxena
(インドネシア)



Noryawati Mulyono
(インドネシア)



Benny Santoso
(インドネシア)



支援
終了

IMPACT HERO 2019
ウェイウェイ・ヌー
(ミャンマー、平和構築)



支援
中

IMPACT HERO 2022
サミール・ラカーニ
(カンボジア・ネパール他、保険衛生)



支援
終了

IMPACT HERO 2015
ベラ・ガルヨス
(東ティモール、環境教育)



支援
終了

IMPACT HERO 2017
キャシー・ジェットニル=キジナー
(マーシャル諸島、気候変動)



Eugenio 'Ego' Lemos
(東ティモール)



Saguffa Salma Janif
(フィジー)



Cressida Kuala
(パプアニューギニア)



Vinzealhar Nen
(パプアニューギニア)

OUR IMPACT MAP 2014-2022

団体設立から8年。皆さまからのご支援を賜り、
リジェネラティブな未来の創出に向けた21のプロジェクトを支援できました。

アジア太平洋 **8** カ国で
21 の支援プロジェクトを実施
7 施設を建設
7 カ所で災害支援

1

東ティモールグリーン
スクール&ヴィラ建設支援
支援金額 **1,050万円**

3

バリ島クリニック
建設支援
支援金額 **1,500万円**

9

ロンボク島災害支援
クリニック建設支援
支援金額 **750万円**

10

パプアクリニック
建設支援
支援金額 **950万円**

11

マーシャル諸島気候変動
ユースセンターの建設支援
支援金額 **1,000万円**

16

パラワン島災害支援
クリニック建設支援
支援金額 **150万円**

17

ミャンマークーデター直後の
民主派アドボカシー支援
支援金額 **700万円**

20

ロヒンギャ難民に
リサイクル石 殻を届ける
支援金額 **806万円**

これまでの支援プロジェクト一覧

- 東ティモール・グリーンスクール建設&運営支援
- ネパール地震緊急支援
- バリ島ブミセハット国際助産院建設&運営支援
- 東ティモール・エコツーリズム施設建設
- バリ島ブミセハット国際助産院ユースセンター兼避難所建設
- ロヒンギャ難民キャンプ難民学校運営費支援
- フィリピン巨大台風緊急支援
- バリ島アグン山噴火緊急支援
- ロンボク島地震緊急支援
- ブミセハット国際助産院パプアクリニック建設
- マーシャル諸島気候変動ユースセンター建設&運営費支援
- ミャンマー平和構築リーダーシップセンター運営費支援
- 東ティモール大洪水緊急支援
- バリ島にてコロナによる困窮家庭への緊急食糧支援
- マーシャル諸島ユースセンター存続のための緊急運営支援
- ブミセハット国際助産院パラワン島クリニック建設
- ミャンマークーデター発生を受けアドボカシー活動支援
- フィリピン巨大台風緊急支援
- ベラ・ガルヨス自叙伝執筆&出版支援
- 900万個のリサイクル石 殻をロヒンギャ難民に届けるために必要な石 殻製造機3機分の資金提供
- 900万個のリサイクル石 殻を作るためにカンボジアに増員する女性スタッフ雇用

📍 建設・運営費支援 📍 災害・緊急支援

IMPACT HERO 2021

ARIEF RABIK

人類は、熱帯雨林の8割を
すでに伐採してしまった…
その生態系が失われた荒地に竹を植え、
豊かな森林を育てて、もう一度命を。
木材の需要を竹に置き換える技術革新で
気候変動、貧困、土地荒廃、
ジェンダー格差の同時解決に挑む。

ARIEF RABIK アリーフ・ラビック

竹の専門家である環境活動家であり、Environmental Bamboo Foundation (EBF) を設立した母親の元で、7歳の時には既に67種類の竹の名前を覚えていたというアリーフ。後に竹の専門家として、志半ばで亡くなった母の遺志を継いでEBFの代表に就任。母国インドネシアで「1000のバンブーブレッジ」プロジェクトを立ち上げ、これを10カ国に展開することで、竹による土地再生、世界の木材需要を置き換える竹材の生産と普及を通して、地球と人類の未来を揺るがず森林減少、気候変動、貧困、ジェンダー格差の同時解決に挑む。





バンブービレッジで収穫した竹を加工する工場を訪問し、建築や家具などに使用する竹材の製造方法について理解を深めました。(バリ島クサンバ)



潜在的パートナーからの質問に答えられるよう、ヒーロー支援チームは専門的な文献を読み漁り、竹の知識を深めています!



バンブービレッジの普及に向けて、国連機関やインドネシア政府との協働にも積極的に働きかけています。インドネシア・ジョコ大統領のバンブービレッジ視察も実現。

アリーフが取り組む課題

森林減少と土地荒廃は、気候変動を引き起こす世界の温室効果ガス排出量の2割を占めています。さらに森林は、その豊かな生態系で私たちに食料や医薬品、木材などを与えてくれ、森林なしに人間の暮らしはあり得ません。ですが森林伐採の被害を受けるインドネシア農村部では、長年の開発や非持続的な農法により資源が枯渇し、人びとの生活はより厳しくなっています。



バンブービレッジで何が起る?

- 村人が協同組合をつくり、「バンブーフォレスト」で竹を中心とした多様な植物、果樹を栽培。
- バンブーフォレストの管理・運営には、女性が主体的に関わる。
- 根の長さが異なる種を一緒に育てることで、竹の持つ土壌回復効果が発揮される。
- 栽培した農作物は、収穫まで短期間のものもあり、農家の収入向上に即効性を持つ。
- 竹はバンブービレッジに設置した工場で、強度や耐性に優れた合板や竹柱へと加工し、家具や建材となる。
- 竹の加工過程で出る破片もペレットとして加工し、バイオエネルギーとして活用。

国連とも協働!



Earth Companyの支援内容

バンブービレッジ構想の実現に向けた資金調達・パートナー開拓を支援

「1000のバンブービレッジ」プロジェクトの実現には、政府や国際機関、財団や社会的投資家などによる大型の資金援助、またバンブービレッジが生産・加工する竹製品の市場拡大が必要です。Earth Companyは、日本企業とのパートナーシップを構築するために、助成申請書の作成や関係者との交渉などを通して、様々な企業への働きかけを忍耐強く行っています。また国内外の個人支援者へのアプローチにも積極的に取り組んでいます。

IMPACT HERO 2022

SAMIR LAKHANI

未使用で捨てられる石けんをリサイクルし
廃棄物削減と女性の雇用を促進しつつ
最貧困層の人たちの命を救う

SAMIR LAKHANI サミール・ラカーニ

訪れたカンボジアの農村で、洗濯洗剤で新生児を洗う母親の姿を見て、衝撃を受けたサミール。石けんすら買えない貧困下で衛生状態が悪く、下痢や感染症など予防可能な病気で命を落とす子どもを一人でも減らすために、2014年にEco-Soap Bankを設立。世界中の工場ですら未使用の廃棄石けんに着目し、工場から回収、貧困層の女性を雇用してリサイクルし、NGOや国際機関を通して衛生状態の悪い人たちに届ける事業を展開。これまでに5か国で150人以上の女性を雇用して、1,500トン以上の廃棄石けんをリサイクルし、アジア、アフリカ地域の550万人以上の人びとに届けてきた。





Eco-Soap Bank
カンボジア工場視察



中期資金計画と
ファンドレイジング戦略の策定支援



バングラデシュの
ロヒンギャ難民キャンプへの石けん供給

サミールが取り組む課題

世界には、最も安価な衛生用品である石けんすら入手できないために、予防可能な病気で命を落とす子どもたちがまだまだたくさんいます。その一方で、石けん工場から未使用のまま埋立地に廃棄される石けんは年間2.5億個にも及び、環境にも大きな負荷をかけています。



サミールの活動

廃棄されるはずの石けんを、貧困層の女性たちの手で、命を守る石けんに生まれ変わらせ、一人でも多くの必要とする人びとに届けるためには、Eco-Soap Bankの事業をさらに拡大していくことが必要です。そのためにサミールは、主に以下の活動を行っています。

- 未使用石けんを寄付できる企業パートナーの開拓
- 途上国で衛生問題に取り組むNGOや国際機関パートナーの開拓
- カンボジアを始めとする拠点の運営強化
- Eco-Soap Bankの中期事業戦略の策定と資金調達



Earth Companyの支援内容

ファンドレイジングと中期戦略策定でインパクト拡大をサポート!

今年度開始した支援活動の第一弾は、バングラデシュのキャンプで生活する43万人のロヒンギャ難民に石けんを届けるために、新たに3台の石けん製造機械の購入を支援するファンドレイジングでした。クラウドファンディングと個別のご支援により集まった合計806万円のご寄付で、カンボジア工場に無事3台の機械を設置し、新たに15名の女性も雇用。難民キャンプへの段階的な石けんの輸送も順調に実施されています。また8月にはカンボジア視察を行い、中期財務戦略の策定や、マーケティング素材の準備などを進めました。

IMPACT HERO 2022

ファイナリスト支援

ファイナリストへの支援も さらに進化!

IMPACT HERO 2022のファイナリストに対して提供した2022年度の「Lead-to-Regenerate(L2R)チェンジメーカー・プログラム」では、6回のオンライン・ワークショップを通して、7名がリジェネラティブな未来の実現について学び、熱く議論!

最終的には各ヒーローがどのようにリジェネラティブな未来を実現するか発表するサミットを、この先彼らの強力な支援者や協力者になる可能性のある方を招いて開催。さらに渡航制限の緩和により「バリ・キャンプ」もついに実現!

4名がバリに集い、彼らの課題をリアルタイムで解決していくメンタリングや、バリ島グリーンスクールコミュニティとのネットワーキング、また参加者同士の交流を深めました。

Samir

「リジェネレーション」というコンセプトを聞いた時に、脳内に衝撃が走りました。これまで取り組んでいたことが、まさにリジェネラティブだったんだと気づきました。廃棄石けんをゼロにし、すべての人に石けんへのアクセスを届けるという、より大きなビジョンを描くことができました。

Nory

ビジネス・環境の専門家に、メンターとして、事業運営・資金調達について具体的なアドバイスをもらうことができました。ファイナリストに選ばれていなければ、出会うことのできなかった人たちとの繋がりが、このプログラムの一番の財産です。



Samir

Hong

Aparna

Nory

Aparna

Hong

団体の最大の危機に直面していた時に、このプログラムに参加しましたが、ファイナリストたちとの出会いを通じて「世界を救おうとするクレイジーな存在は自分だけではない」と感じる事ができ、自信と勇気をもらえました!

個人・組織レベルでの変化だけでなく、社会・地球規模の課題に対して、どのようにインパクトを生み出していくのかを議論しました。事業を通じて既存の受益者以外にどうアプローチするのか方法を考えることで、高い視座を持つことができました。

IMPACT HERO 2023 FINALISTS

IMPACT HERO 2023への応募者は、史上最多の76名!

その中から傑出した8名のチェンジメーカーをファイナリストとして選出しました。

2023年度は、この8名が半年間のリーダーシップ・プログラムに参加し、

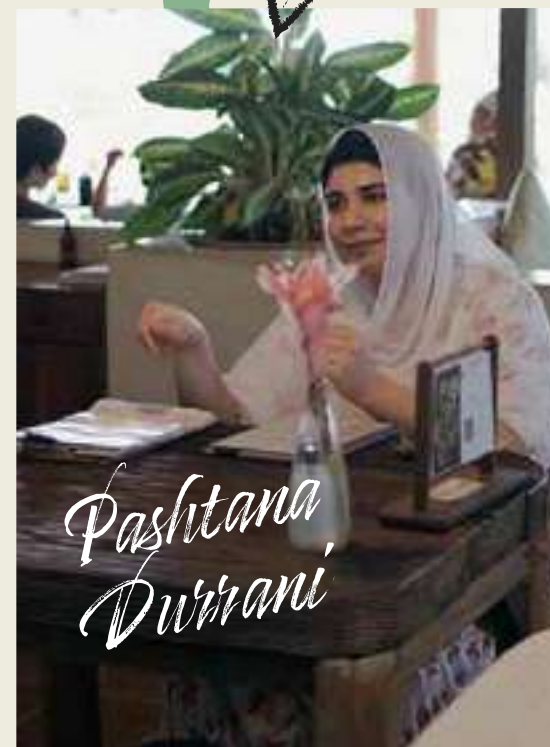
その間関係構築や支援ニーズの明確化を行ったうえで、最終的に1名のIMPACT HEROを選出します。



オユンゲレル・テッデンダンバ
(モンゴル)

Let's Change Our Toilets

トイレ普及による
公衆衛生



パシュタナ・ドラーニ
(アフガニスタン)

LEARN

女子学生のための
秘密教育



ゼイノリン・アンカン
(インド)

Hill Wild

貧困・食の安全保障



ベニ・サントソ
(インドネシア)

Ini Tempe

国産テンペによる
食の安全保障



ガル・ワンディタ
(インドネシア)

Asia Justice & Rights

人権被害者の支援



ラストティアナ・ウタミ
(インドネシア)

ALIET GREEN

農家の脱貧困



クレシダ・クアラ
(パプアニューギニア)

Porgera Red Wara Women's Association

人権侵害被害女性の
保護



ヴィンゼハル・ネン
(パプアニューギニア)

Sustainable Ocean Alliance

気候変動教育



IMPACT HEROES' ACTIVITIES IN 2002

支援期間が終了したIMPACT HEROたちの活動



IMPACT HERO 2015 ベラ・ガルヨス

大統領のアドバイザーに！
東ティモールの新大統領から登用され、女性の経済支援担当のアドバイザーに就任し、政府団の一員として国連総会にも出席。またベラが運営するLGBTQ保護シェルターにいた若者たちは、大統領府の貧困家庭支援プログラムで雇用されました！



IMPACT HERO 2017 キャシー・ジェットニル・キジナー

気候変動の被害国へ補償を！
マーシャル諸島国の気候変動特使としてCOP27に参加。気候変動の「損失と損害」への補償を求め、途上国支援の基金設立の合意形成に貢献。またNGO・Jo-Jikumも、地元住人の声を国の気候変動適応計画に反映させるために重要な役割を果たしています。



IMPACT HERO 2016 ロビン・リム

コロナ禍でも安心安全なお産を！
新型コロナウイルス感染拡大下でも、6カ所の助産院は1日も閉じることなくサービス提供を続け、2022年は674人の赤ちゃんの誕生をサポートしました。またパプアでのマラリアの流行対応や、バリ島での洪水・土砂崩れなど自然災害への緊急支援なども実施しました。



IMPACT HERO 2019 ウェイウェイ・ヌー

米・ジェノサイド認定を実現！
ワシントンを拠点に米国政府への積極的なロビー活動を続けています。その結果、2022年3月に米国政府はミャンマー軍によるロヒンギャ迫害を「ジェノサイド(大量虐殺)」と認定。今後のミャンマー情勢に大きな影響を与える成果を生み出しました。


IMPACT ACADEMY

インパクトアカデミー事業

今後数年の人類のアクションが
今後数千年の地球の未来に
影響を与えていると言われています。
私たちは、
「地球を救える最後のジェネレーション」。
その「最後のジェネレーション」として、
未来を創るための行動を起こせる人を
一人でも多く増やすための研修が、
IMPACT ACADEMYです。

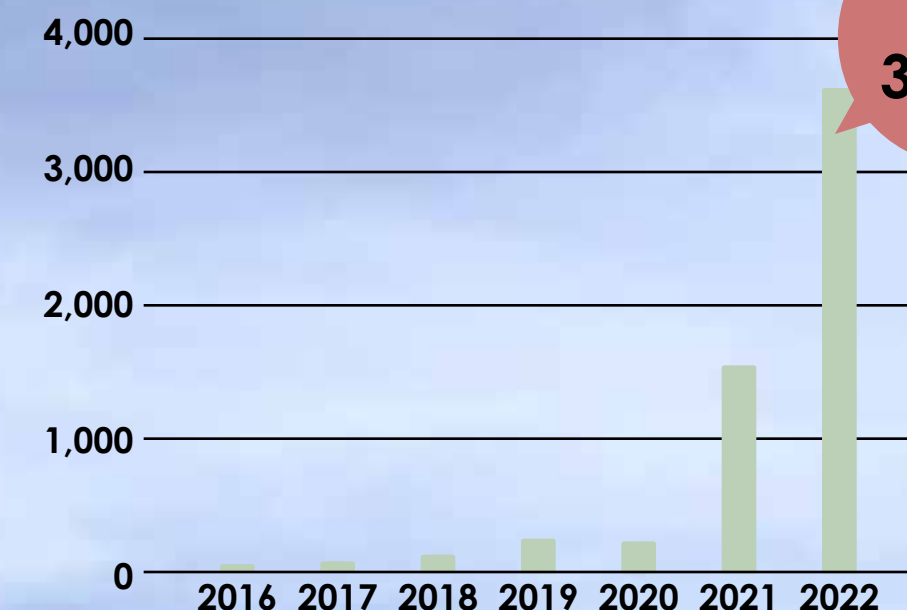
 **3,650**名

2022年の受講者数

 **35**本

2022年の研修開催数

2022年の受講者数




3,650名



IMPACT ACADEMY

インパクトアカデミーは、社会課題や環境問題など日常ではあまり実感しにくい事柄を、インパクトヒーローたちの生き様やライフストーリーを通じて心と頭で感じ、「自分にできることは何か」を考えていくのが特徴です。

2016年にバリ島ウブドで学ぶ渡航型研修としてスタートし、パンデミックを機に日本全国どこからでも学べるオンライン型研修と、「実際に行動したい」という思いに伴走するプロジェクトベースの実践型研修を加えて、2021年にバージョンアップ！その結果、2022年はたくさんの方に受講していただきました。

2022年導入校 (50音順)

【中学校・高等学校】岡山市立操南中学校、岡山清心女子高校、岡山大学附属中学校、岡山理科大学附属高校、香川県立高松西高校、晃華学園中学校高等学校、聖学院中学・高等学校、昭和女子大附属中学校・高等学校、シンガポール日本人学校、中央大学附属高校、新潟県立長岡大手高校、British School in Tokyo、立命館高校立命館、立命館宇治中学校、和光中学高等学校

【大学】大阪大学、聖心女子大学、東洋大学×GiFT Diversity Voyage、文京学院大学

2022年導入企業 (50音順)

住友商事株式会社、パソナ日本創生大学校、富士急行株式会社、ふじみまち産業振興センター、株式会社LIFULL、SUNDRED株式会社

For Schools



オンライン型研修

インパクトヒーローの半生を教材として用い、日本には感じられない世界とのつながりや、SDGsのリアルを届けます。探究学習や長期休暇中の特別研修として活用できます。



渡航型研修

バリ島ウブドのエシカルホテル「Mana Earthly Paradise」に宿泊し、ごみ問題、貧困問題、ジェンダー問題などテーマを決めて現地の体験学習を通じて学びます。

教育機関(高校・中学・大学)対象



実践型研修

学校のCO2排出量を可視化し、サステナブルな学校にするために生徒自身が「やりたい」と思うことを実践。生徒の自主性も大きく成長するプロジェクト学習です。

For Companies

企業対象



オンライン型研修

経済発展のために社会課題や環境問題を生んでしまう従来のあり方から、人類と地球が共繁栄するあり方を追求になるために何ができるのか、個人・企業のあり方の接点を見出していきます。(7月・12月は対面開催も可)



実践型研修

実際に行動を起こしたい企業対象の実践型研修には、社会課題や環境問題を解決する新サービスや新規事業を考えるワークショップや、現在のCO2排出量を可視化してサーキュラーな組織を目指して実践していく「オペレーション・グリーン」があります。

For Professionals 個人対象



Regenerative Futures Camp

社会人対象では、「Regenerative Futures Camp」を年2回開催。オンラインと対面で学ぶ全8回のカリキュラムで、最先端のフレームを学び、世界をよくする未来型の企業をつくるために個人としてできるアクションを考えます。

IMPACT ACADEMY

For Schools

研修事例



オンライン型研修

晃華学園中学校高等学校

SDGsの本質を理解するために

すでに課外活動でSDGsに関する活動に取り組む生徒が増え、関心が高まる一方で、その活動で誰が救われて何が解決できるのか?について深く考える機会がなかったため、「SDGsは命の問題であることを改めて理解してほしい」という目的で導入を決定。希望者を対象に、夏休み中の4日間特別研修として7月に開催しました。



参加者の感想

- 今回参加していなければ、無関心なまま学校生活を続けていたであろう私の心持ちを、180°変えてもらった。
- 自分に新たな変化をもたらしてくれて、私自身、一つの問題に対してより深く多角的に向き合えるようになった。
- 自分が何を思ったのかに向き合い、自分の心と頭が活発に動いてる感じがして、こんな経験はこれまでなかった。



渡航型研修

立命館宇治中学校

4日間でも大きく成長!

「グローバルチャレンジプログラム」の一環として、「バリ島から未来を守るアクション」を学ぶ4日間の研修に中学1年生の6名が参加。バリ文化を知り、環境問題を学びながら、その解決策としてのアップサイクルも体験。「13歳でも自ら動くことで世界を変えられる」というメッセージに、生徒たちが自分の殻を破っていく姿が見られました。



参加者の感想

- 環境問題や社会問題に対して、これからたくさんのアクションを起こしていきたい。
- Manaでは、自然と人間が手を繋いでいる感じがした。そんな様子が私の心を落ち着かせてくれたと思う。
- 今回の研修で、自然と人間が手を取り合い存在していくことが可能だということがわかった。



実践型研修

昭和女子大附属中学校・高等学校 / British School in Tokyo

環境負荷の少ない学園づくりを推進

SDGsに関する多くの取り組みを行ってきた同校では、より行動レベルに踏み込むブリティッシュ・スクールとの共同プロジェクトとしてスタート。全校生徒計1850名へのオンライン講演を封切に、プロジェクトには両校から総勢64名の生徒が参加。全校を巻き込み、2023年度も継続して環境負荷の少ない、環境保全に貢献する学園作りを推進します。



参加者の感想

- 今までも環境問題など考える機会があったが、実際に行動できたことはない。今度は身近な人と協力して、徐々に活動ができるようになっていきたい。
- ボランティアなど積極的に行ってきたが、途上国の人の気持ちを考えたことはなかった。本当に犠牲になっているのは誰かを考えながら行動し続けていきたいと思った。

IMPACT ACADEMY

For Companies

研修事例



2022年にEarth Companyが従業員300名以上の日本企業の管理職1000人に対して行った調査では、約半数の48.1%がサステナビリティの重要性に「共感していない」と回答しました。こうした現状に対し、自分ごととして捉え直し、企業人としてできることを考える企業対象プログラムも、本格導入が進みました。



オンライン講演

富士急行株式会社

サステナビリティ意識の推進へ

各部署から選ばれた委員で構成される、社内のサステナビリティ委員会の活動の一環として、知識と理解を深め、活動への内発的動機づけにつながるオンライン講演を開催し、委員会事務局を含む14名が参加。世界の社会課題の現状を紹介すると共に、「未来のために何を残したいか」を考えるきっかけを提供しました。



参加者の感想

- これまで自分一人が行動するだけでは何も変わらないと思い、行動に移せなかったが、これからは行動を起こしてみようと思った。
- 自分事として、自分の未来を変える意識で取り組まなければならないということを今更ながら感じた。



オンライン型研修

パソナ日本創生大学校

次世代の女性幹部に新たな視点を

パソナ日本創生大学校が社会に貢献できる女性幹部候補を育成するWomen's Advanced Programに、「SDGs経営」のテーマで13.5時間の研修を提供。頭だけでなく心で感じることを大切に、インパクトヒーローも登壇。最終日には「自分が社長だったら」という視点での発表を行いました。



参加者の感想

- Beを起点に考えることでいかに視座を高く持てるか、また本質的な会社の使命に気づくことができるのかを体感することができた。
- 今どんな企業でありたいか、今後どんなふうになっていくべきかという理想を考える事によって、自社を見直すとても良いきっかけになった。



実践型研修

ふじみまち産業振興センター

ゼロ・カーボン推進の一環として

SDGs推進事業の一環として、企業のゼロ・カーボン推進施策を進めるなか、町内企業2社に対し、CO2排出量を可視化。世界の環境問題とサプライチェーン全体でネットゼロを目指す大手企業などの影響を講演。事例として過去に実践型研修を導入した森のオフィスを案内し、2社が今後取り組んでいけるアクションについて紹介しました。



参加者の感想

- このまま何もしなかった場合、2050年に待っている未来に衝撃を受けた。こんなに危機的な状況とは全く知らなかった。こういう啓蒙活動は、町全体に対してもっと行っていく必要があると強く感じた。自社発電に関しても、各企業が負担を負うのではなく、町も自社発電の助成金を出すなどし、町全体で取り組むべき。

Regenerative Futures Camp (RFC)

For Professionals

研修事例

一緒に「世界をよくしたい」 仲間に出会える！

RFCは、人類と地球が 共繁栄するリジェネラティブなあり方を探究し、企業や個人として実践、行動していくための社会人対象研修*。

2022年1月にスタートし、今までに約70名の大手企業の方や起業したスタートアップの社長、その他個人として学びたい方々にご参加いただき、参加者満足度はなんと100%！

RFCは2023年以降も、年2回、オンラインと対面のハイブリッド開催で定期開催予定。これからも世界をよくするリジェネレーターを日本中に増やしていきます！

*2時間×全7回 ※2023年以降は全8回に変更



気持ちから変化していくため、
半永続的なモチベーションアップにつながる。
このようなプログラムは他にない。
素晴らしいと感じた。



思考と感情が
行ったり来たりで、
気付けば魂揺さぶられるという
すごい設計

参加者の
満足度
100%

福崎二郎さん
(株)フクシン



本来は、SDGsや地球環境問題などに、今後僕がどう取り組むべきか？まだまだやれることがあるだろうか？と、そういったものを見つける事が目的でしたが、心持ちは学べるとは思わなかった。素晴らしい学びの時間だった。

日高あゆみさん
三井不動産(株)



『社会的な潮流からESG投資/SDGsを押し進めていかなければならない』というような義務的な考え方から、実際の世界、環境破壊、人権問題に対する当事者意識を持てるようになった。

南知仁さん
(株)JTB



今まで問題が大きすぎて、あまり自分が何かを起こして解決するイメージがなかったけれど、社会課題や環境問題の原因になるだけではなく、人間がいるからこそできることが、たくさんあるんだと腑に落ちた。

その他の参加者の感想はこちらから! <https://note.com/earthcompany/m/m11d0a32d1a05>



mana

earthly paradise • ubud

Mana Earthly Paradise (マナ・アースリー・パラダイス) は、人と社会と自然が共繁栄するリジェネラティブなあり方をできる限り具現化するために建てたバリ島ウブドのエシカルホテル。照明は太陽光発電で賄い水は雨水を使用。新たに木を一本も切らずに建てたりと、様々な資源の循環を取り入れた取り組みで国際的な賞を数々受賞。2022年は、B Corp 認証も取得しました！私たちはバリの土地と文化、人々に敬意を払いここで経済活動を行えば行うほど、周囲の社会や環境が良くなっていく真のリジェネラティブビジネスの実現を目指しています。

★★★★★ 4.8

Google Review
(ホテルとレストラン共に)

私自身の夢のような家。
スタッフが最高にいい人たちばかりで、
みんなが快適に過ごせるように
気を配ってくれています。

この場所は、
感謝の気持ちを持って
生きる事を教えてくれました。

ロケーション、敷地、食事、スタッフ、
そして全体の雰囲気、
すべてがワールドクラス！

(利用者の声より)

mana earthly paradise

2022年、ついに単月黒字に!

2019年9月にオープンし、その半年後にコロナのパンデミックの大打撃を受けて2年。「入国制限が解除された時には、多くのお客様に楽しんでいただけるように」と施設やメニューの改善を続けてきましたが、ついに2022年3月から徐々に念願のバリ島への入国制限が緩和!訪れるお客様も増え、下半期からは毎月単月黒字を達成することができました!また心を込めたスタッフの対応にも、高い評価を頂いています。



東南アジアのホテルで初のB Corp 認証取得!

Mana Earthly Paradiseは、厳格な審査のもとに環境や社会に配慮した公益性の高い企業に与えられる認証の「B Corp」を東南アジアのホテルで初めて取得!私たちの取り組みが、国際的な基準に達していることが認められました!

※B Corp(B Corporation)とは?→米国の非営利団体B Labによる国際認証制度。2022年10月現在で、世界86カ国の約6,000社が取得。

大人も子どもも、快適に過ごせる空間へ!

「入国制限が解除された時には、お客様にもっと快適に過ごしてもらえるように」と、2021年から順次、施設のリニューアルに取り組んできたマナ。

2021年に行ったレストランのリノベーションやエシカルショップの開設に続き、2022年にはヴィラの内装を改善。大人が仕事をしたりコーヒーを楽しむ間に子どもたちも思いっきり遊べるようなプレイグラウンドも新設しました!

さらにレストランのオープニングメニューを開発していただいた比嘉康洋シェフを3年ぶりにお招きしてアップデートしたメニューも大変好評!

まだ海外観光客がパンデミック前の1/3しか戻らずホテル経営はまだまだ苦しい中、レストラン「マナ・キッチン」には連日多くのお客様が訪れ、下半期の単月黒字化につながりました!



気候変動の影響で大打撃...



ここ数年とても苦しかったのが、気候変動の影響です。世界中で異常気象を引き起こすラニーニャ現象が2年半も続くという、ここ100年で未曾有の状況が発生しました。バリ島ではその間豪雨が頻発し、床上浸水、道路浸水、畑冠水、配管破裂、地下の雨水濾過システム冠水、雨漏り、と被害が絶

えず、それらの修理、また適応策の導入に、パンデミックで収入が限られる中、相当なコストが必要となりました。今年はエルニーニョ現象が始まることが予測されバリ島では干ばつが懸念されますが、自然と一体となった生活のなか、気候変動の影響を嫌というほど痛感しています。

mana earthly paradise



1



4



6



9



2



5



7



3



8



10


1. ヴィラのゆったりスポットZENコーナーをリニューアル 2. バリ島の観光2.0アライアンスローンチイベント 3. パーマカルチャーガーデンの収穫物でジュース作り 4. リノベーションしたファミリーヴィラ 5. ガーデンピクニック、できるようになりました！
6. ドキュメンタリー映画の上映会の開催 7. おそらくウブド初?!のLGBTQのイベント開催 8. 3月、世界が同じ時間に電気を消す年に一回のEarth Hourイベント 9.10. ノマドワーキングや瞑想にも最適な環境

SEMINARS & LECTURES

講演・登壇

 **31**本

登壇本数

 **2,240**人

参加者人数

Seminar/Event	Organizer
How to find your purpose: Enlightened Entrepreneurship	Blue Sky Education x 琉球大学, UOG, UH
Asia Pasific Eco-tourism Summit 2022	Asean Ecotourism Network (AEN)
6th session of the SDGs Seminar Series: "Building the Ecosystem of Social Innovation: The Role of Impact Investing Intermediaries".	ASEAN JAPAN CENTRE
Circular Economy and Innovation for Small business	IPMI International business school
ワークスタイリング SDGs特別企画【第4回】 社会課題解決の“チェンジメーカー”を生み出す組織と体験のデザイン	Sustainable Workstyle Lab
コミュニティナースが教科書になるまで ～人とまちを元気にする実践家はどう育つのか?	Community Nurse Company株式会社、奈良県
Koala : International Women Day Panel	Koala
Green Leadership Program with Garry (Sungai Watch)	Green School & Learning Options
Beを起点にDoとHaveを考える	greenz (Sustainability College)
Kembali Becik Launch Event : Greening Bali Travel	Kopernik
サーキュラーのその向こう ～Earth Companyと考えるリジェネラティブな未来～	NasuconValley (ナスコンバレー)
Sustianable Tourism in the Post-Covid World	Accueil Singapour
Green Leadership Series : Why we need to rethink about Fashion - Slow Fashion for the future with Aparna (Toraja Melo)	Green School & Learning Options

Seminar/Event	Organizer
IPMI Business Competition for the Business model Canvas for High School	IPMI Student Board
サーキュラーのその向こう ～ Earth Companyと考えるリジェネラティブな未来	SMBC日興証券
世界35都市以上周遊 24時間ライブツアー 「～世界とつながる、平和への旅～」HIS	HISバリ支店
ブミセハット国際助産院の紹介	JTB シンガポール
サーキュラーのその向こう ～ Earth Companyと考えるリジェネラティブな未来	LION
Earth Company活動紹介	東京六本木ロータリー・クラブ
SDGsのその先×構造改革×リジェネラティブ	京都市ソーシャルイノベーション研究所
SDGs講演	静岡デザイン専門学校
LeadNext Master Class	LeadNext Program The Asia Foundation
Driving Innovation with Impactful Solution: Case in Hotel Industry in Bali	InnoLab (Innovation Lab)! IPMI
サステイナブルのその向こう ～Earth Companyと考えるリジェネラティブな未来	シグマクシス
リジェネラティブなあり方	NEXUS
社員が働きやすくなるインナーサステナビリティの重要性	アレスグッド
Earth companyの活動	関西学院大学
パーパスと行動の繋がり	クロスフィールズ
未来を託された「逸材」を発掘、支援する若きリーダー達の取組み: Earth Compnay	学堂会
Earth Companyと創る次世代のためのリジェネラティブな未来	社会変革推進財団

MEDIA COVERAGE

メディア掲載履歴

📄 **35**回

メディア掲載回数

Date	Title	Media
2022/01/05	Webseries DSC12	Diplomat Success Challenge
2022/02/01	次世代エシカルホテルで、SDGsの先にある再生型観光を体現	事業構想
2022/02/08	『アシタノカレッジ』「News & Calling with GLOBE+」	TBSラジオ
2022/01/07	Direct Talk「Acting With a Mission - A Better Future for All: Bella Galhos / Human Rights Activist」	NHK World
2022/03/24	「SINIC RADIO」全4回 （「ダライ・ラマ14世との出会い」「Earth Companyの事業」 「バリ島を拠点とする活動」「これからの夢やビジョン」）	FM京都 「NEWSROOM α」
2022/04/20	『エシカルワークスタイル』	池田 晃一著、 日経アーキテクチュア
2022/04/26	地球と人とSDGs「バリ島の暮らしからSDGsを学ぼう！」	毎日小学生新聞
2022/04/22	“捨てられるはずの石鹸”が、命を救う。 「Eco-Soap Bank」が作る、三方よしの循環経済	IDAS FOR GOOD
2022/05/01	バリ島発のグローバル人材育成 世界を変えるチェンジメーカーを育てる	先端教育
2022/05/09	正しい手洗いは地球を救うー「世界にいいことプロジェクト」2選	webマガジン Ethica
2022/05/14	「VOICE OF THE WORLD」ロヒンギャ難民キャンプに石鹸を！	J-WAVE Diamond head ETHICAL WAVE
2022/05/17	バリ島におけるソーシャルビジネスの取り組み	エシカル白書
2022/05/26	地球と人とSDGs「観光の光と影」	毎日小学生新聞
2022/06/07	「News&Calling」	TBSラジオ アシタノカレッジ
2022/06/27	地球と人とSDGs「SDGsな未来型ホテル」	毎日小学生新聞

Date	Title	Media
2022/07/05	バリ島ウブドに旅立とう。心で”良さ”を感じるエシカルホテル 「Mana Earthly Paradise」	Livhub
2022/07/26	地球と人とSDGs「ぐるぐるライフ」	毎日小学生新聞
2022/07/30	15歳のニュース 中高生向けオンラインイベント 「あなたも今日からSDGs HERO」	毎日新聞 15歳のニュース
2022/08/18	「SINIC RADIO」出演ゲスト12名の総集編 「ひとと社会の持続の可能性」	SINIC RADIO
2022/08/23	地球と人とSDGs「地球にやさしい買い物を」	毎日小学生新聞
2022/08/24	一般社団法人Earth Company 「インパクトヒーロー」たちの 存在が人々をインスパイアし、次世代につなぐ未来を創る	スペースシップアース
2022/09/27	地球と人とSDGs「自然の力を生かして作る」	毎日小学生新聞
2022/10/08	HERO INTERVIEW	月間総務
2022/10/24	生徒がCO2削減へ自主活動	四国新聞(時事通信)
2022/10/24	生徒ら自主的に課外活動	陸奥新報(時事通信)
2022/10/25	地球と人とSDGs「生ごみが肥料に変身」	毎日小学生新聞
2022/10/30	生徒がCO2削減で課外活動	岩手日日(時事通信)
2022/11/02	生徒がCO2削減で課外活動	島根日日(時事通信)
2022/11/18	独身女性の友人事情 「独身おじさん友達いない問題」は、女性にも?	朝日新聞telling
2022/11/18	日本人社会起業家夫婦が運営するエシカルホテル 「Mana Earthly Paradise」がB Corp認証取得	ELEMINIST
2022/11/18	【ELEMINIST転載】 日本人社会起業家夫婦が運営するエシカルホテル 「Mana Earthly Paradise」がB Corp認証取得	Yahoo!ニュース
2022/11/22	地球と人とSDGs「すべての過程で優しさを」	毎日小学生新聞
2022/12/14	Earth Company 事業提携するPT Jalan 278が運営する エシカルホテル「Mana Earthly Paradise」でB Corp認証取得	週刊ホテルレストラン
2022/12/22	地球を救うヒーローを支える!女性社会起業家	広報PRのチカラ 株式会社ネタも
2022/12/27	地球と人とSDGs「働くことで地球を守る」	毎日小学生新聞

FINANCIAL HIGHLIGHTS

一般社団法人Earth Company財務報告

2022年度の決算結果は、収支差額780万円のマイナスという、非常に厳しいものとなりました。

収入面では、新型コロナウイルス感染拡大の影響で落ち込んだ収入を回復させるために、2021年度から収益事業の強化に取り組み、結果として、インパクト・アカデミー研修事業は目標を上回るスピードで成長、事業収益も大幅に延ばすことができました。寄付についても、支援者層を広げるためのアプローチを、本格的に始動しました。

一方、研修運営に必要な人員配置や教材開発、また海外渡航を含む移動の頻度がパンデミック前に戻りつつあることで、経費も増加しています。収入拡大の施策実施のために、資金調達として、今年度は個人支援者および日本政策金融公庫からの借入も行いました。

パンデミックからようやく脱し、研修事業や寄付機会拡大の可能性を実感しつつ、2021年度から二期続けての赤字決算、正味財産マイナスという現状を、私たちは真摯に受け止めています。海外向けのファンドレイジングやアカデミー事業の展開も進めつつ、2023年度は財政状況回復のための正念場と捉え、さらに中期スパンで財政基盤の安定化を実現するよう一層尽力いたしますので、引き続きご支援のほど宜しくお願いいたします。

貸借対照表

令和4年12月31日 現在 税込(単位:円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	8,359,613	【流動負債】	3,203,241
現金及び預金	6,518,985	未払金	2,396,184
売掛金	557,700	未払費用	558,098
立替金	18,636	未払法人税等	70,000
未収収益	1,257,692	預り金	178,959
未収入金	6,600	【固定負債】	17,500,000
		長期借入金	11,500,000
		長期未払金	6,000,000
		負債の部合計	20,703,241
		正味財産の部	
		【正味財産】	△ 12,343,628
		前期繰越正味財産額	△ 4,477,986
		当期正味財産増減額	△ 7,865,642
		正味財産計	△ 12,343,628
		正味財産の部合計	△ 12,343,628
資産の部合計	9,015,968	負債・正味財産の部合計	8,359,613

損益計算書

自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日 税込(単位:円)

経常収益	受取寄付金	受取寄付金	31,343,049
	受取助成金	受取助成金	6,791,788
	事業収益	受託事業収益-研修事業	20,360,214
		その他の事業収益	697,200
経常収益		計	59,192,251
経常費用		支払寄付金	10,878,789
		業務委託費	29,479,401
		役員報酬	2,280,000
		給料手当	14,591,019
		法定福利費	2,718,626
		広告宣伝費	1,560,412
		会議費	148,837
		旅費交通費	2,640,396
		通信費	989,429
		消耗品費	28,829
		新聞図書費	15,750
		諸会費	84,000
		支払手数料	1,063,055
	租税公課	14,900	
	研修費	504,653	
経常費用		計	66,998,096
当期経常増減額			△ 7,805,845
経常外収益		受取利息	78
		雑収入	68,585
	経常外収益	計	68,663
経常外費用		支払利息	58,457
	経常外費用	計	58,457
税引前当期正味財産増減額			-7,795,639
法人税、住民税及び事業税			70,003
当期正味財産増減額			-7,865,642
前期繰越正味財産額			-4,477,986
次期繰越正味財産額			-12,343,628

OUR SUPPORTERS

ご支援くださった企業・団体

OUR SUPPORTERS



Plan·Do·See Indonesia



OUR PARTNERS

プログラム共催



プロボノ提供



Special Thanks to

[Operation Green システム開発] 寺田有汰 [動画制作] 矢野瑛子

2023 PROSPECTS

2023年の展望

Impact Hero

IMPACT HERO支援事業

各ヒーローへの支援が加速!

今年が支援最終年となるアリーフは、新しいバンブービレッジの立ち上げに向け、日本企業の大型助成の獲得のために、必要書類の作成や関係者との交渉へのサポートを加速します。サミールとEco-Soap Bankのチームには、先方のニーズに基づきマーケティング支援を開始。また、上半期にIMPACT HERO 2023 ファイナリスト8名にバリへの招聘を含む一連のリーダーシップ・プログラムを提供し、7月にIMPACT HERO 2023を選考・発表します!乞うご期待!



Impact Academy

インパクトアカデミー事業

渡航型研修@バリ島が本格再開!

バリ島への渡航が再開し、すでに教育機関など7団体が今年バリ島で研修予定。繁忙期の春・夏にはすでに人員不足なため、増加する需要に対応

できるよう、4月以降はスタッフが3人増員!さらに、一般財団法人雲孫財団(福岡県)との協働事業として15の高校への講演事業を展開し、中高生が視野を広げ未来を創る行動を起こすきっかけを提供します。海外展開では、シンガポールを始め複数の研修が予定されており、更なる開拓も進めていきます。



Isana Earthly Paradise

エシカルホテル事業

新たなフェーズに突入! 価値創造の時代です

2023年は、近年の豪雨で大ダメージを受けたヴィラの茅葺屋根をアリーフの竹を使った竹瓦に全とっかえしたり、太陽光発電システムのメーカーがパンデミック中に業務停止となり修理ができなくなったため新システムに刷新するなど、気候変動やパンデミックの弊害は未だ感じつつ、これまでのサバイバルモードから脱し、より積極的に価値創造を行っていくフェーズに入ったと感じます。インパクトアカデミーの渡航型も増え、チームを拡大してさらにたくさんのお客様を受け入れられるよう体制を整えています!

OUR TEAM

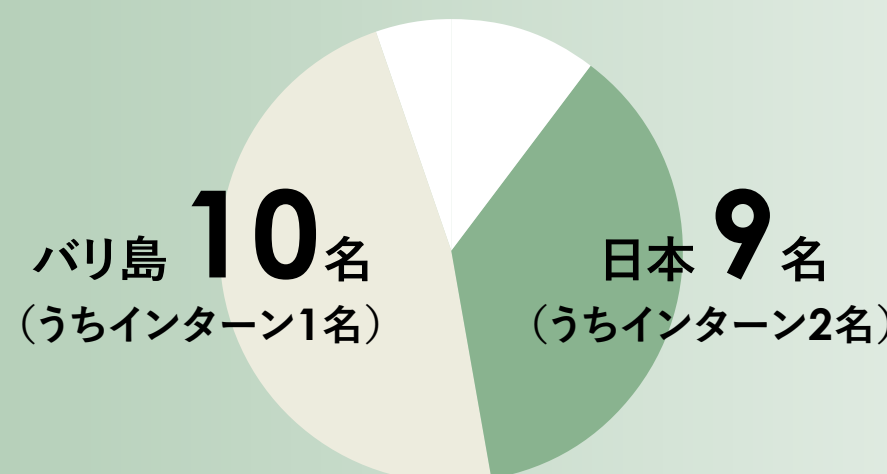
日本各地とバリ島で！
多様性溢れるチームです

Earth Companyは今、インドネシア・バリ島と日本に拠点を持つ総勢50名以上のチームに！
さらに2022年からは、濱川明日香がEarth CompanyグループのCEO(最高経営責任者)、濱川知宏がCXO(Chief Exploration Officer: 最高探究責任者)として運営体制を改めました！「CXO」は、地球全体の変動性、複雑性が未曾有のスピードで加速しているこの時代に、組織がただ生き抜くだけではなく、進化し続ける「探究型組織」となるためのおそらく世界初(少なくとも日本初)の役割。
新たな運営体制のもと、チームも個人のライフスタイルを尊重する働き方で、いろんなアンテナを張りながら柔軟に進化していきます！

EARTH
COMPANY



19人



81%

女性率

44%

ワーキングマザー率

10カ国

これまでのインターンの出身国

日本、韓国、インドネシア、インド、ケニア、
ボスニア、ドバイ、フィリピン、
サウジアラビア、コロンビア

75%

幹部女性率

Diverse & inclusive!

人種、LGBT、発達障害、学習障害

100%

現地雇用率

44%

女性率

34人



OUR FAMILY

Earth Companyを支えてくれた、 25名のインターン／プロボノメンバー

2022年のEarth Companyの活動は、24名の高校生や大学生のインターン、そして社会人のプロボノの方々に支えていただき、多くの成果を実現できました！
心からの感謝を込めて、私たちと未来への想いを共有する
素敵なEarth Companyファミリーを、みなさまにご紹介します！

インパクトヒーロー支援事業

主に
Impact Hero 2023
選出プロセスを担当！



インターン
仲原菜月

チェンジメーカー達の
下支えとなる役割の重要性を学び、
リジェネラティブな未来を共創する一人
でありたい思いが強くなりました。



IMPACT STORIES デザイン制作
西澤志信

実は姉弟！



阿部倫也



長尾由季子



佐藤麻里子



山口剛史



横山知沙



井上知美

インパクトアカデミー事業

Regenerative Futures Camp
に参加して素敵な取り組みだったので
自分もサポートしたいと思い、プロボノ参画
させて頂きました。意義のある内容で
熱を持って営業戦略を考えることが
できました！



営業戦略企画
瓜哲史



営業戦略企画
久保田龍星



インターン
金城初穂

2ヶ月
バリ島駐在で
渡航型研修の受け入れ！



egenerative Life style
アクションリスト作成
治部陽野恵



小城真奈

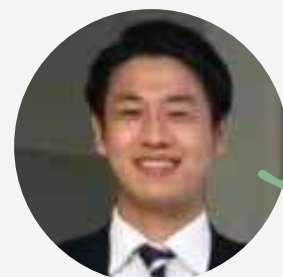


Regenerative Futures
Camp 運営サポート
萩原睦



オンライン調査リサーチ分析
種田毅

Earth Companyの価値
観や取り組みに共感し、是非一緒
したいと思いました！Regenerative
な生き方を体現する皆さんと豊かな
時間を過ごせて感激でした！



リーダー
山内瑞毅

プロボノ活動による支援を
通じ、リジェネラティブな世界の
実現に向け、メンバーそれぞれが行動
変容を起こす機会を得ることが
できました。

Earth Company

雑誌取材の獲得、
営業資料企画



PR／販促
酒井真理亜

元研修プログラム
参加者



Instagram
阪田みれい



Regenerative
Futures Camp
参加者

インターン
中村安里

高校生インターンプロジェクト

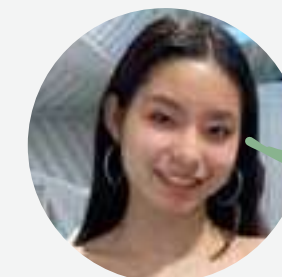
Earth Companyの講演を受けた高校生から
「インターンをやりたい」という問合せを複数いただき、
2022年6月～8月までの3ヶ月間、Earth CompanyのPRプロジェクトとして、
オンラインイベントやSNSプロモーションを実施。



万代真由



村上奈穂



栗原りな

3か月に及ぶ初の高校生
インターン活動を通して、イベント
企画の難しさ楽しさを学び、SDGs
HEROになるべく成長することが
できました。



仲原壮汰



下元爽夏

実は
スタッフの娘！



杉山大樹

インターン後、
ご家族で
manaに宿泊！

HOW TO GET INVOLVED

Earth Companyと関わりたい人、 お待ちしております！

私たちのアニュアルレポートを

ここまで読んでくださって、本当にありがとうございました！

「もっとEarth Companyと関わりたい！」

「Earth Companyのことをサポートしたい！」

と思ってくださった方のために、

いくつかの「関わり方」をご提案させていただきます。

どんな「関わり方」も大歓迎です！

今年も未来への想いを私たちと同じくするファミリーが

1人でも多く増えてくださることを、


スタッフ一同楽しみにしています。



1 SNSでシェアする

Earth Companyの活動を多くの人に知ってもらえるように、FacebookやInstagramの拡散にご協力ください。


 **Earth Company - アース・カンパニー**
<https://www.facebook.com/EarthCompanyJP>

 **earthcompany.jp**
<https://www.instagram.com/earthcompany.jp/>

 **manaubud**
<https://www.instagram.com/manaubud/>


2 仲間になって継続支援する

社会課題解決のために人生をかけているチェンジメーカーと共に未来をつくるEarth Lovers(継続寄付者)の仲間になりませんか?月額2,000円からご支援いただけます。

 <https://www.earthcompany.info/ja/monthly-supporter/>

4 Regenerative Futures Campに参加する

年2回、4月と9月スタートで定期開催しているこのキャンプでは、Earth Companyと一緒に人と自然が共繁栄する未来について考えるだけでなく、同じ想いをもつかけがえのない仲間にも出会えます!→第4期の詳細はこちら

 <https://earthcompany-rfc04.peatix.com/>


5 プロボノリストに登録する

Earth Companyの業務に興味のある方は、ぜひプロボノリストにご登録ください。ニーズが発生したときにご連絡させていただきます。

※ニーズが発生しない場合、ご登録いただいても業務のご案内ができないこともございます。予めご了承ください。

3 講演を開催する

学校や企業、団体でEarth Companyの講演を企画してみませんか。Earth Companyの活動を通じて、世界の社会課題や環境問題の現在地をふまえて紹介する講演を行っています。ぜひお気軽にお問合せください。

 <https://www.earthcompany.info/ja/lecture/>

6 Manaに泊まる

インドネシア・バリ島ウブドにあるエシカルホテルMana Earthly Paradiseの宿泊料の5%が、インパクトヒーロー支援事業に寄付されます。宿泊し、心と体に心地よいこれからのあり方を体験することで、社会貢献もできます。





EARTH COMPANY

www.earthcompany.info

Earth Companyは
次世代につなぐ未来のために
人と社会と自然が共鳴しながら発展する
リジェネラティブなあり方を追求します。

※Earth Companyは日本を拠点とする
一般社団法人Earth Companyと、
インドネシアで活動するPt Jalan 278の
2つの独立した法人の総称です。

一般社団法人Earth Company

東京都港区南青山2-15-5 FARO1F

Tel 03-6753-1558

Pt Jalan 278

Banjar Mas, Sayan, Ubud,

Gianyar, Bali, Indonesia

Email contact@earthcompany.info

 www.facebook.com/EarthCompanyJP/

 www.instagram.com/earthcompany.jp/

2023年6月発行

編集：一般社団法人 Earth Company デザイン：野村真美

"We do not inherit the earth from our ancestors. We borrow it from our children."

この地球は、先祖から継承したのではなく、私たちの子どもたち、子孫から借りているのです。